

# 日本惑星科学会 1996年度秋季講演会を終えて

関谷実<sup>1</sup>

1996年度の秋季講演会は九大・国際ホールにて10月2日から4日まで開催されました。拙文では組織委員（村江達士委員長，高岡宣雄，中牟田義博，中島健介，北島富美雄，並木則行，竹広真一，中村智樹，以上の各氏と私）の一人として，今回の講演会を振り返ってみたいと思います。

## 1. 申し込みと予稿集および会員への連絡方法について

申し込みは，今回から電子メールにしました。このおかげでプログラムを組むときに新たに題名や人名を打ち込む手間が省けて助かりました。ただ，フォーマット通りに書いてこない人が多かったため，自動処理するのはあきらめて手作業でプログラム作成をしました。今後はメールニュースやWWWでフォーマットを事前に配布した方がよいと思います。また，申込書や予稿集で著者の所属や外国人名の書き方が統一されていなかったところが気になりました。今後のためにも一度運営委員会で予稿集の書き方のきちんとしたフォーマットを作成したほうがよいと思います。

プログラムの公表はメールニュース，WWWおよび遊星人で行いました。遊星人の発行が遅れたために問い合わせが殺到するかと思いましたが，以外にもほとんどありませんでした。メールが普及したためと思われる。WWWの内容はメールニュースとほぼ同じで，しかもメールニュースよ

りも遅れて掲載されたため，あまり利用されなかったようです。ただし，地図は役だったかも知れません。

## 2. 日程について

今回の講演会は秋の講演会としては初めて3日間行われました。そのため時間には余裕があり口頭発表希望の方はすべて希望どおり口頭にて講演していただくことが出来ました。また，HIIによる月探査に関する特別セッションに1日目の午後全部を当てることが出来ました。さらに初日は10時から受け付け10時半開始，最終日は16時45分終了というゆったりとした時間を設定できたので北海道の方は無理としても当日の朝に出発して最終日の内に帰宅できた方も多かったことと思います。

実はこのゆったりとした時間割のために我々組織委員も命拾いしました。というのも前日のうちに会場の準備をしようと思っていたのですが，前日は夜の11時頃までシンポジウムが行われたために入ることが出来ず，当日の朝に特急で会場の準備をするという羽目になったのでした。

今後も3日間で定着するのか，再び2日間にするのかはよく考えた方がよいと思います。2日にするとポスター発表を多くせざるを得ません。ポスターボードを外注すると結構高くつきますので会場費との兼ね合いでどちらが安くて済むか事前に十分に見積もりをした上で決めるのが良いと思います。

<sup>1</sup>九州大学理学部

### 3. 会場について

さて、今回はポスター発表件数が少なかったおかげで口頭発表会場のロビーをポスター会場にすることができましたので、ポスターセッションのためわざわざ移動せずに済みました。これはずいぶん評判が良かったように聞いてます。また、ロビーに囚らずもインターネットの繋がったパソコンがあり重宝されていました。会場内の設備としてはビデオ・プロジェクターを用いた講演が1件だけありました。今後はさらに液晶プロジェクターなども必要になってくると思います。また、名古屋大学の院生の山下君制作のパソコンによるタイムキーピングシステムが強力で、時間オーバーした人はほとんどありませんでした。山下君に感謝の意を表します。

### 4. 財政面について

今回は福岡県産業科学技術振興財団や九州航空宇宙開発推進協議会から資金援助を受けることができましたので、なんとか赤字を出さずに済みましたが、いつもこのようにうまく行くとは限りません。参加費だけで黒字経営できるように予定を立てておくか、よほど早期に援助の約束を取り付けておかないと組織委員は大変な目に遭うことになります。また、参加者が何人あるかが読めないと予算が立てられないので、予約払い制度にしておくとは少しは運営が楽になると思います。今後の課題として考えられた方がよいと思います。

懇親会は初め申し込みが少なくて組織委員は真っ青になりました。懸命の勧誘でやっと黒字になりほっとしています。ロビーのお茶は一杯50円とやや高めに設定しましたが、以外にも収支はとんとんでした。ただ飲みした人が多かったのかも？

### 5. おわりに

まあ、何はともあれ無事終了することができました。最後になりましたが、助成いただいた福岡県産業科学技術振興財団および九州航空宇宙開発推進協議会、後援いただいた福岡観光コンベンションビューロー、顧問としてご助言・ご協力いただいた九大工学部の八坂哲雄教授及び黒木工業所の黒木博憲氏、特別講演を快く引き受けて下さった九大理学部の宮原三郎教授、レビュー講演をしていただいた宇宙研の水谷仁教授、千葉工大の武田弘教授、予稿集の表紙写真を提供いただいた舌間信夫氏に感謝いたします。